

緑を感じる都心の街並み形成計画の策定について

札幌市では、このほど「緑を感じる都心の街並み形成計画」を策定しました。

本計画は、平成14年度に策定した都心におけるまちづくりの長期的な計画である「都心まちづくり計画」の具体化を図るため、新しい時代の都市文化の創造や環境負荷軽減に寄与する都市づくり、うるおいと安らぎのある都市空間の創造などを目指し、都心の魅力を受け止めながら、市民が快適に過ごせる環境を整えるための取り組みをまとめたものです。とりわけ、その推進に大きな効果が期待できる、札幌駅前通および創成川通の再整備に関する基本計画を内容としています。

なお、同計画素案の策定に当たっては、学識経験者や民間有識者らで構成する「緑を感じる都心の街並み形成計画策定委員会」を設置。平成15、16年度の約2カ年にわたって、市民意見の反映を図りながら検討を行い、今年4月に同委員会から市長に手交された計画を基に策定したものです。

1 計画の策定過程

平成15年7月	緑を感じる都心の街並み形成計画策定委員会（委員長：辻井 達一 北海道環境財団理事長）を設置
平成15年11月	さっぽろ夢ストリート・市民1000人ワークショップを開催
平成16年9月、11月	札幌駅前通・創成川通のまちづくり広場（オープンハウス形式でパネルや模型、説明資料を公開し、アンケートを実施）を開催
平成16年10月	平成16年度第1回創成川通市民懇談会を開催（以後計3回開催）
平成17年2～3月	「緑を感じる都心の街並み計画（素案）」の公表および市民意見の募集（意見の数：31人・87項目、素案の修正：7カ所）
平成17年4月	計画策定委員会から上田市長へ計画を手交
平成17年9月	市として「緑を感じる都心の街並み形成計画」を策定

2 計画の概要

(1) 位置付け、対象範囲

位置付け

上位計画である「第4次長期総合計画」および「都心まちづくり計画」、「都心交通計画」を受け、「緑の基本計画」、「環境基本計画」との整合を図りながら策定。

対象範囲

都心中心部

(2) 基本目標

美しく魅力的なストリート^{注1}を創出し、そこで多様な文化が展開されることによって札幌の魅力を高めていく「ストリート文化の創造」による都心の魅力づくりを具体化するため、以下の5項目を基本的な目標として取り組みを進める。

アクティビティ（活動、行動）とオープンスペース（道路、公園等の公共空間や、民間施設等の屋内外の公共的空間）によるストリート文化づくり

札幌が誇る新しい名所の創造

周辺のまちづくりガイドラインの策定と継続的な進行管理
市民による活用を通じたストリート文化の育成
風土的都市デザインの実現

注 1 ここではいうストリートとは、公共施設と民間施設の区分なく、誰でもが利用できる施設、空間全体で構成される公共空間のことで、道路、公園、河川等の公共施設や建築敷地内オープンスペース（広場、アトリウム等）に加え、周辺の街並みや人々の活動を誘発する魅力的な沿道施設（店舗、飲食店等）も含むものとする。

(3) ストリート文化の展開

4つの骨格軸（札幌駅前通、創成川通、大通、北三条通）を中心に札幌都心部を彩り、個性のあるストリート文化づくりを進める。さらに、4つの骨格軸における取り組みを、その他の道路や中通りに面的、派生的に展開し、都心全体でのストリート文化の創造へと発展させていく。

札幌駅前通：地上と地下それぞれの魅力がいまってにぎわいを創出するメインストリート

創成川通：新しい活動、文化、交流、緑をはぐくむ川辺ストリート

大通：魅力的な緑環境を持ち、市民が憩い、活動するストリート

北三条通：札幌の歴史と文化を感じながら新たな活動をはぐくむストリート

(4) 札幌駅前通および創成川通の再整備の基本計画

札幌駅前通の整備の基本方針～地上、地下が融合する緑豊かな空間づくり～
空間整備の方針

- ・並木の維持、再生による緑の中心軸の強化
- ・快適に利用できる歩行者空間の創出
- ・地上と地下の空間的連続性の確保
- ・安全・安心に利用できる場づくり

空間活用の方針

- ・道路空間も活用した多様なアクティビティ展開の仕掛けづくり
- ・地下歩行空間の積極的な活用

創成川通の整備の基本方針～水が遊び、水で遊ぶ空間づくり～
空間整備の方針

- ・創成川の特徴を活かした空間づくり
- ・主要な結節点の特徴づけ
- ・水の表情、遊びによる魅力づくり
- ・安全・安心に利用できる場づくり

空間活用の方針

- ・多様なアクティビティの展開が可能となる柔軟な管理
- ・市民がアクティビティを誘導する活動を展開することも可能な管理体制づくり

(5) 札幌駅前通および創成川通における主要な樹種の選定

札幌駅前通

〔現状〕ハルニレ（中央分離帯）、ニセアカシア（歩道部）

〔今後〕オオバボダイジュ（中央分離帯）、ニセアカシア（歩道部）

創成川通

〔現状〕シダレヤナギ、ライラック（河道沿い）

〔今後〕ハルニレ（河道沿い）ハシドイ、ライラック等を中心とした高、中、低木（車道際）カツラ（歩道部）

3 計画の推進に向けて

(1) 札幌駅前通および創成川通の整備等

本計画の内容を具体的設計へ反映するべく、引き続き委員会等の検討体制を設けるとともに、公共空間が魅力的なものとして継続的に活用されるよう、市民自らがその運用（活用、管理）を行う具体的仕組み等について検討を行う。

(2) 周辺への波及

骨格軸（札幌駅前通、創成川通、大通、北三条通）での取り組みによって生まれる効果を市街地に面的に波及させるため、まちづくりや街並み誘導等に関する啓発活動等の取り組みのあり方等について検討を行う。

(3) 市民活動の誘発

沿道関係者やまちづくり組織などによる主体的な活動が展開されるよう、さまざまな環境を整えるとともに啓発活動を継続的に行う。

4 市民への周知方法

(1) 計画書（A4判79ページ）の配布

11月1日から、市民まちづくり局都心まちづくり推進室（市役所本庁舎5階）、市政刊行物コーナー（市役所本庁舎2階）、各区役所広聴係などで配布を開始。

(2) ホームページへの掲載

9月22日から計画書および概要版の内容を公開。

《アドレス》<http://www.city.sapporo.jp/kikaku/downtown/midori/midori.htm>

問い合わせ先
市民まちづくり局都心まちづくり推進室事業調整課
電話 211-2692